

大学番号：080

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

事前伺い

鹿児島大学大学院 理工学研究科 総合理工学専攻

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人鹿児島大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 理工学研究科等研究科・
工学系総務課総務係

職名・氏名 総務係長 野邊正志^{ノヘシヨウジ}

電話番号 099-285-8215

（夜間） 099-285-8215

F A X 099-285-8225

e-mail e-soumu@kuas.kagoshima-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

理工学研究科

＜総合理工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人鹿児島大学

(2) 大学名

鹿児島大学大学院

(3) 大学の位置

〒890-8580

鹿児島県鹿児島市郡元一丁目21番24号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マエダ ヨシザネ) 前田 芳實 (平成25年4月1日)		
研究科長	(コノヅ エイジ) 近藤 英二 (平成27年4月1日)	(ホノマ トシオ) 本間 俊雄 (平成29年4月1日)	変更理由 任期満了 変更年月日 平成29年4月1日 報告年度 (29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 総合理工学専攻(博士後期課程) 博士(理学, 工学, 学術)	理学関係 工学関係	3年	24人	72人	基礎となる学部等 理学部 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	24 () []		24 () []						0.76倍	
志願者数	16 (5) [2]	6 (5) [1]	20 (7) [2]							
受験者数	16 (5) [2]	6 (5) [1]	20 (7) [2]							
合格者数	16 (5) [2]	6 (5) [1]	20 (7) [2]							
B 入学者数	15 (5) [1]	6 (5) [1]	16 (7) [1]							
入学定員超過率 B/A	0.87		0.66							

- (注) ・ 数字は, 平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	15 [1] (-)	[] ()	16 [1] (-)	5 [1] (-)	[] ()	[] ()			
2年次	/		13 [1] (-)	[] ()	[] ()	[] ()			
3年次			/				[] ()	[] ()	
計	15 [1] (-)				34 [3] (-)		[] ()		

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	21 人	3 人	平成28年度	3 人	0 人	除籍(2人)、学生個人の心身に関する事情(1人)	14.28 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	16 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	37 人	3 人					8.10 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
基盤研究コース	先端科学特別講義	1-2-3前・後	1			6	7					兼 30	集中		
	専攻ゼミナール	1-2-3前・後				71	62							教授、准教授の退職、准教授から教授への昇任 准教授の担当資格取得者増加のため(29)	
	特別演習 I	1前	2			72	59							教授の退職、准教授の担当資格取得者 増加のため(28)	
	特別演習 II	2前	2			71	62							教授、准教授の退職、准教授から教授への昇任 准教授の担当資格取得者増加のため(29)	
	特別実習	1-2-3前・後		2		72	59							教授の退職、准教授の担当資格取得者 増加のため(28)	
	特別研修 I	1-2-3前・後		2		71	62							教授、准教授の退職、准教授から教授への昇任 准教授の担当資格取得者増加のため(29)	
	特別研修 II	1-2-3前・後		2		70	64							教授の退職、准教授の担当資格取得者 増加のため(28)	
	国際コミュニケーション海外研修	1-2-3前・後		4				3						集中 教授の退職、准教授の担当資格取得 者増加のため(28)	
	国内長期インターンシップ	1-2-3前・後		4				2						集中 教授の退職、准教授の担当資格取得 者増加のため(28)	
	知的財産戦略構築実務論 (MOT関連科目)	1-2-3前・後		2				1						兼 1	教育課程の充実を図るため担当者の変更・追加 (29)
	技術経営と社会連携 (MOT関連科目)	1-2-3前・後		2				1						兼 2	集中
	応用数学特論 I	1前		2										兼 1	教授、准教授の退職、准教授から教授への昇任 准教授の担当資格取得者増加のため(29)
	応用数学特論 II	1後		2			1	1						兼 1	集中 教授の退職、准教授の担当資格取得 者増加のため(28)
	物質生産科学分野 専門科目	カオスとフラクタル特論	1前 未開講		2				1						履修希望者がいたため(29)
		精密加工学特論	1前 未開講		2				1						履修希望者がいなかったため(28)
		トライボロジー特論	1後 未開講		2				1						履修希望者がいなかったため(28.10)
電子デバイス特論		1後 未開講		2				1						履修希望者がいなかったため(28.10)	
微視的結晶成長プロセス工学		1後 未開講		2			1	1						履修希望者がいなかったため(28.10)	
固体物性特論		1前 未開講		2				1						担当教員退職に伴う担当者の変更(28)	
非平衡統計力学特論		1前 未開講		2				1						履修希望者がいなかったため(28)	
高分子材料精密合成特論		1前 未開講		2				1						履修希望者がいなかったため(29)	
量子物理学特論		1前 未開講		2				1						履修希望者がいなかったため(28)	

基盤研究コース	物質生産科学分野	低温物理学特論	未開講 1後 1前	2	1				履修希望者がいなかったため(28.10)
		磁性物理学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいたため(29) 履修希望者がいなかったため(28)
		固体力学特論	未開講 1前 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		機械材料学特論	未開講 1後	2		1			教育効果を配慮し、配当年次を変更(29) 履修希望者がいなかったため(28.10)
		相変態特論	未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)
		統計力学特論	未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)
		生体機械工学特論	未開講 1前 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(29) 教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)
		材料物性特論	未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)
		高エネルギー材料工学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
		計算物質科学特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
		固体物理特論	未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(29)
		Advanced Material Science and Production Engineering	未開講 1+2+3前	2	5	1			履修希望者がいなかったため(28) オムニバス
		システム情報科学分野	並列処理システム	未開講 1前	2		1		
	通信用LSI工学特論		未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
	光情報処理特論		未開講 1前	2				兼 1	履修希望者がいなかったため(28)
	幾何学特論		未開講 1前 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(29) 教育効果を配慮し、配当年次を変更(29) 履修希望者がいなかったため(28.10)
	情報意味論特論		未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)
	量子化学特論		未開講 1前	2		1			
	生理活性化合物合成特論		未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
	システム情報科学分野	天然物構造機能特論	未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)
Advanced Topics in Topology		未開講	2					履修希望者がいなかったため(28)	
位相数理特論		未開講 1前	2		1			教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)	
数理システム学特論		未開講 1前 1後	2		1			集中 教育効果を配慮し、配当年次を変更(29) 履修希望者がいなかったため(28.10)	
社会数理学特論		未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)	
デジタル通信システム特論		未開講 1前 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)	
複素解析学特論		未開講 1前 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(29) 教育効果を配慮し、配当年次を変更(29) 履修希望者がいなかったため(28.10)	
表現論特論	未開講 1前	2		1	1		担当教員の昇任のため(29) 履修希望者がいなかったため(28)		
ソフトウェア工学特論	未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)		
情報システム信頼性特論	未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)		

基盤研究コース	システム情報科学分野	機械力学特論	未開講 1後	2	1				履修希望者がいなかったため(28.10)	
		Advanced Colloid Chemistry							担当教員の昇任のため(29)	
		コロイド化学特論	1後	2	1	1			教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)	
		動的システム工学特論	1後	2	1					
		計測制御工学特論	1前	2		1				
			未開講							
		デジタル制御システム特論	1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)	
			未開講							
		非線形システム制御特論	1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)	
			未開講							
		複雑系生体情報システム特論	1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)	
		生体機能制御化学特論	1後	2		1				
			1前							
			未開講							履修希望者がいたため(29)
		超伝導工学特論	1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)	
		建築デザイン特論	1後	2		1			教育内容の充実を図るため、科目を追加(29)	
			未開講							履修希望者がいなかったため(28)
		数理代数学特論	1前	2		1			教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)	
		未開講							履修希望者がいなかったため(28)	
	解析学特論	1前	2		1			教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)		
		未開講							履修希望者がいなかったため(28.10)	
	複素代数幾何学特論	1後	2		1			教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)		
		未開講							履修希望者がいなかったため(28.10)	
	離散群論特論	1後	2		1			教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)		
		未開講			5	1			履修希望者がいなかったため(28.10)	
	Advanced System Information Science	1+2+3後	2		4	2			担当教員(准教授1名)の昇任のため(28.12) オムニバス	
	生命環境科学分野		1前							履修希望者がいたため(29)
		発生細胞学特論	1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)	
		未開講								
環境鉱物学特論		1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)		
		未開講							担当教員の昇任のため(29)	
地球テクトニクス特論		1前	2		1	1		履修希望者がいなかったため(28)		
		1前								
		未開講							履修希望者がいたため(29)	
環境化学特論		1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)		
		未開講								
無機反応化学特論		1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)		
		1前								
		未開講							履修希望者がいたため(29)	
植物生態学特論		1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)		
		未開講								
水圏生態学特論		1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)		
		1前								
		未開講							履修希望者がいたため(29.4)	
行動進化学特論	1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)			
Advanced Phylogenetic Botany	未開講							履修希望者がいなかったため、担当教員の昇任のため(29)		
植物系統学特論	1後	2		1	1		教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)			
	未開講									
細胞生理化学特論	1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)			
	未開講									
ゲノム情報学特論	1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)			
	未開講									
陸域物質循環特論	1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)			
	未開講									
古脊椎動物学特論	1前	2		1			履修希望者がいなかったため(29)			
生命情報学特論	1後	2		1						
	未開講									
火山堆積システム特論	1後	2				兼 1	履修希望者がいなかったため(28.10)			
	未開講									
火山岩相解析特論	1後	2				兼 1	履修希望者がいなかったため(28.10)			
	未開講									
災害地質学特論	1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)			
	未開講									
地殻構造特論	1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)			

先端 科学 技術 コース	専 門 科 目	環 境 ・ エ ネ ル ギ ー 分 野	流体機械特論	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)		
			流動工学特論	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)		
			強相関電子デバイス工学特論	未開講 1後	2	1			履修希望者がいなかったため(28.10)		
			生体環境リスク基礎特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)		
			コロイドプロセス特論	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)		
			分離工学特論	未開講 1後	2	1			履修希望者がいなかったため(28.10) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)		
			反応工学特論	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)		
			セラミックス工学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)		
			機器分析特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)		
			伝熱工学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)		
			流体計測制御特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)		
			熱機関工学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)		
			電気エネルギーシステム特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)		
			パワーエレクトロニクス特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)		
			電磁エネルギー工学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)		
			環境設計特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)		
			熱環境特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)		
			環境建築設計特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(29)		
			海洋物理環境学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)		
			環境水理学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)		
			土砂水理学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)		
			固体酸化物形燃料電池の材料科学	未開講 1後	2				履修希望者がいなかったため(28.10)		
									兼 1 集中		
				医 療 ・ 福 祉 工 学 分 野	生体電磁工学特論	未開講 1前 1前	2	4	1		履修希望者がいなかったため(28) 担当教員退職に伴う担当者の変更(28)
			生体情報制御システム		未開講 1前	2		1			履修希望者がいたため(29) 履修希望者がいなかったため(28)
			視覚工学特論		未開講 1後	2		1			履修希望者がいなかったため(28.10)
			視覚情報処理工学		未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
			神経情報工学		未開講 1前	2		1			履修希望者がいなかったため(28)
聴覚情報処理特論	未開講 1後	2			1			履修希望者がいなかったため(28.10)			
情報計測システム工学	未開講 1後	2			1			履修希望者がいなかったため(28.10)			
知能画像工学	未開講 1前	2			1			履修希望者がいなかったため(28)			
人工知能特論	未開講 1前	2			1			履修希望者がいなかったため(28)			
ロボット工学特論	未開講 1前	2			1	1		履修希望者がいなかったため(28.12) 履修希望者がいなかったため(28)			
生体運動制御特論	未開講 1後	2			1			履修希望者がいなかったため(28.10)			

先端科学技術コース	地域創生・安全工学分野	構造設計特論 I	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)
		構造設計特論 II	未開講 1後	2	1	2		履修希望者がいなかったため(28.10) 担当教員退職に伴う担当者の変更(29)
		構造モデルの動的応答と安定性	未開講 1後	2	1			履修希望者がいなかったため(28.10)
		構造形態創生特論	未開講 1後	2	1			履修希望者がいなかったため(28.10)
		建築材料学特論	未開講 1前	1		1		履修希望者がいなかったため(28)
		連続体の力学	未開講 1前	1		1		履修希望者がいなかったため(28)
		維持管理工学	未開講 1後 1前	2	1	1		履修希望者がいなかったため(28.10) 教育内容の充実を図るため、教員を追加(28) 履修希望者がいたため(29)
		Advanced Concrete Technology	未開講					履修希望者がいなかったため(28)
		建設材料学特論	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28) 教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)
		コンクリート構造特論	未開講 1前	2	1			履修希望者がいなかったため(28)
		海岸防災特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)
		地盤環境工学特論	未開講 1後 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10) 履修希望者がいたため(29)
		地盤工学解析法	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)
		構造力学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)
		地域再生デザイン特論	1後	2		1		
	先進物質材料分野	機能性材料工学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		分光分析特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)
		化学計測材料特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		微粒子工学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)
		有機無機複合材料化学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		生物化学工学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		環境・エネルギー化学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		環境分析化学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)
		タンパク質化学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(29)
	天文学宇宙科学分野	数値熱流体工学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		Photonic communication technology 光通信工学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28) 教育内容の充実を図るため、科目名を変更(28)
		マイクロ波工学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		機械制御工学特論	未開講 1前	2		1	4	履修希望者がいなかったため(28) 担当教員退職に伴う担当者の変更(28)
		宇宙物理学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)
		地球惑星科学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10)
		銀河電波天文学特論	未開講 1後 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10) 履修希望者がいたため(29)
		観測天文学特論	未開講 1前	2		1		履修希望者がいなかったため(28)
		赤外線天文学特論	未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28) 教育効果を配慮し、配当年次を変更(28)
Advanced Study of Star and Planet Formation		未開講 1後	2		1		履修希望者がいなかったため(28.10) 教育内容の充実を図るため、科目を追加(28)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
8	154	0	162	8	169	0	177	
				[0]	[15]	[0]	[15]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目 (該当無し)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 (該当無し)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 (該当無し)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合 (該当無し)

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{162} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が, 「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	525,967㎡	0㎡	0㎡	525,967㎡			
	運動場用地	106,929㎡	0㎡	0㎡	106,929㎡			
	小 計	632,896㎡	0㎡	0㎡	632,896㎡			
	そ の 他	35,960,681㎡	0㎡	0㎡	35,960,681㎡			
	合 計	36,593,577㎡	0㎡	0㎡	36,593,577㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		241,689㎡ (241,689㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	241,689㎡ (241,689㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		145室	287室	1,662室	29室 (補助職員 0人)	5室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		理工学研究科			133 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点		
	理工学研究科	1,288,239 [374,399] (1,288,239 [374,399])	36,422 [11,782] (36,422 [11,782])	6,242 [5,929] (6,242 [5,929])	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)	大学全体
計	1,288,239 [374,399] (1,288,239 [374,399])	36,422 [11,782] (36,422 [11,782])	6,242 [5,929] (6,242 [5,929])	8,439 (8,439)	1,725 (1,725)	1,354,970 (1,354,970)		
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		15,479㎡	1,142		1,205,000			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		4,655㎡	陸上競技場、球技場、野球場、武道場、室内プール、艇庫					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	鹿児島大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
法文学部□□	年	人	年次人 3年次 10	人 20		倍 -			編入学定員は学部全体の定員で外数。平成31年度より学生募集。
法経社会学科	4	245		245	学士 (法学・経済学・学 術)	1.05	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目 21番30号	
人文学科	4	165		165	学士 (文学)	1.02	平成29年度	同上	
法政策学科□□□	4	-		-	学士 (法学)	-	平成9年度□	同上	平成29年度学生募集停止
経済情報学科	4	-		-	学士 (経済学)	-	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
人文学科	4	-		-	学士 (文学)	-	昭和54年度	同上	平成29年度学生募集停止
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	200	-	875	学士 (教育学)	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目 20番6号	平成29年度入学定員減(25人)
特別支援教育教員養成課程	4	15	-	60	学士 (教育学)	1.01	昭和49年度	同上	
生涯教育総合課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	平成9年度	同上	平成29年度学生募集停止
理学部□□□□									
数理情報科学科	4	40	-	160	学士 (理学)	1.03	平成9年度	鹿児島市郡元一丁目 21番35号	
物理科学科	4	45	-	180	学士 (理学)	1.03	平成9年度	同上	
生命化学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	平成9年度	同上	
地球環境科学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.04	平成9年度	同上	
医学部									
医学科	6	107	2年次 10	692	学士 (医学)	1.00 (0.83)	昭和30年度	鹿児島市桜ヶ丘 八丁目35番1号	(編入学定員は内数。10月入学のみ。)
保健学科						1.00			
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.00 (0.45)	平成11年度	同上	(編入学定員は内数)
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	1.00 (0.50)	平成11年度	同上	同上
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	1.00 (0.30)	平成11年度	同上	同上

経済社会システム 専攻	2	10	-	20	修士 (経済学・ 社会学)	0.70	平成10年度	同上	
人間環境文化論専攻	2	5	-	10	修士 (文学)	1.40	平成10年度	同上	
国際総合文化論専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	0.68	平成10年度	同上	
教育学研究科									
教育実践総合専攻	2	22	-	60	修士 (教育学)	0.80	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目 20番6号	平成29年度入学定 員減(16人)
医歯学総合研究科									
医科学専攻	2	10	-	20	修士 (医科学)	0.90	平成16年度	鹿児島市桜ヶ丘 八丁目35番1号	
保健学研究科									
保健学専攻	2	22	-	44	修士 (保健学・ 看護学)	1.04	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘 八丁目35番1号	
理工学研究科									
機械工学専攻	2	50	-	100	修士 (理学・工 学・学術)	1.13	平成10年度	鹿児島市郡元一丁目 21番40号	
電気電子工学専攻	2	45	-	90	修士 (理学・工 学・学術)	0.93	平成21年度	同上	
建築学専攻	2	25	-	50	修士 (理学・工 学・学術)	1.18	平成21年度	同上	
化学生命・化学工学 専攻	2	42	-	84	修士 (理学・工 学・学術)	1.14	平成21年度	同上	
海洋土木工学専攻	2	18	-	36	修士 (理学・工 学・学術)	0.83	平成21年度	同上	
情報生体システム 工学専攻	2	42	-	84	修士 (理学・工 学・学術)	1.01	平成21年度	同上	
数理情報科学専攻	2	14	-	28	修士 (理学・工 学・学術)	0.71	平成21年度	同上	
物理・宇宙専攻	2	15	-	30	修士 (理学・工 学・学術)	1.03	平成21年度	同上	
生命化学専攻	2	18	-	36	修士 (理学・工 学・学術)	1.05	平成21年度	同上	
地球環境科学専攻	2	17	-	34	修士 (理学・工 学・学術)	0.70	平成21年度	同上	
農学研究科□□□									
生物生産学専攻	2	26	-	52	修士 (農学)	1.13	平成6年度	鹿児島市郡元一丁目 21番24号	
生物資源化学専攻	2	21	-	42	修士 (農学)	1.21	平成6年度	同上	
生物環境学専攻	2	22	-	44	修士 (農学)	0.70	平成6年度	同上	
水産学研究科□									
水産学専攻	2	32	-	64	修士 (水産学)	1.03	昭和54年度	鹿児島市下荒田 四丁目50番20号	

〔博士後期〕□									
理工学研究科									
総合理工学専攻	3	24	-	48	博士 (理学・工学・学術)	0.76	平成28年度	鹿児島市郡元一丁目 21番40号	
物質生産科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
システム情報科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
生命環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	-	平成21年度	同上	平成28年度学生募集停止
人文社会科学研究科									
地域政策科学専攻	3	6	-	18	博士 (学術)	0.72	平成15年度	鹿児島市郡元一丁目 21番30号	
医歯学総合研究科									
健康科学専攻	4	19	-	76	博士 (医学・歯学・学術)	0.86	平成15年度	鹿児島市桜ヶ丘 八丁目35番1号	
先進治療科学専攻	4	31	-	124	博士 (医学・歯学・学術)	1.17	平成15年度	同上	
保健学研究科□									
保健学専攻	3	6	-	18	博士 (保健学)	0.77	平成17年度	鹿児島市桜ヶ丘 八丁目35番1号	
連合農学研究科									
生物生産科学専攻	3	7	-	21	博士 (農学・水産学・学術)	1.56	平成21年度	鹿児島市郡元一丁目 21番24号	
応用生命科学専攻	3	8	-	24	博士 (農学・水産学・学術)	0.75	平成21年度	同上	
農水圏資源環境科学専攻	3	8	-	24	博士 (農学・水産学・学術)	1.95	平成21年度	同上	
〔専門職学位課程〕									
教育学研究科									
学校教育実践高度化専攻	2	16	-	16	教職修士 (専門職)	0.75	平成29年度	鹿児島市郡元一丁目 20番6号	
臨床心理学研究科									
臨床心理学専攻	2	15	-	30	臨床心理修士 (専門職)	1.03	平成19年度	鹿児島市郡元一丁目 21番30号	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
- ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。

- ・ A C対象学部等についても必ず記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学研究科 総合理工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名				
専	教授	井手 英夫 (65)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ					専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成28年3月 井手英夫教授退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(28)			
専	教授	近藤 英二 (60)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 国際コミュニケーション海外研修	専	教授	近藤 英二 (62)	平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ				
					専	教授	半田 利弘 (58)					国際コミュニケーション海外研修	平成29年4月から教育課程の充実を図るため担当者の変更・追加(29)
					専	教授	小山 佳一 (50)						
専	教授	上谷 俊平 (56)	平成28年4月	先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 精密加工学特論 トライボロジー特論 Advanced Material Science and Production Engineering	専	教授	上谷 俊平 (57)	平成28年4月	先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 精密加工学特論 トライボロジー特論 Advanced Material Science and Production Engineering 機械制御工学特論	平成28年3月林良太准教授退職に伴う担当科目の追加(28)			
専	教授	足立 吉隆 (50)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 相変態特論					専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成29年3月 足立吉隆教授 退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(29)			
							後任未定		相変態特論	平成29年3月 足立吉隆教授 退職 他の専任教員へ担当変更予定(29)			
専	教授	小原 幸三 (65)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 微視的結晶成長プロセス工学					専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成28年3月 小原幸三教授 退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(28)			
					専	准教授	前島圭剛 (39)	平成28年4月	微視的結晶成長プロセス工学	平成28年3月小原幸三教授退職に伴う担当者の変更(28)			

専	教授	宮島 廣美 (64)	平成28年4月	先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 並列処理システム					先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成29年3月 宮島廣美教授 退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(29)
					専	准教授	重井 徳貴 (49)	平成29年4月	並列処理システム	平成29年3月宮島廣美教授退職に伴う担当者の変更(29)
専	教授	福島 誠治 (54)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 知的財産戦略構築実務論 (MOT関連科目) 技術経営と社会連携 (MOT関連科目) 光通信工学特論	専	教授	福島 誠治 (55)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 知的財産戦略構築実務論 (MOT関連科目) 技術経営と社会連携 (MOT関連科目) Photonic communication technology	平成28年4月から教育内容の充実を図るため科目名を「光通信工学特論」から「Photonic communication technology」へ変更(28)
専	教授	二井 晋 (49)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	専	教授	二井 晋 (50)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 分離工学特論	平成28年4月から教育内容の充実に伴う担当科目の追加(28)
専	教授	武若 耕司 (61)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Material Science and Production Engineering 維持管理工学 建築材料学特論	専	教授	武若 耕司 (62)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Material Science and Production Engineering 維持管理工学 Advanced Concrete Technology	平成28年4月から教育内容の充実を図るため科目名を「建築材料学特論」から「Advanced Concrete Technology」へ変更(28)
専	教授	湯ノ口 万友 (65)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 生体電磁工学特論					専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成28年3月 湯ノ口万友教授 退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(28)
					専	准教授	塗木 淳夫 (45)	平成28年4月	生体電磁工学特論	平成28年3月湯ノ口万友教授退職に伴う担当者の変更(28)
専	教授	川崎 洋 (45)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ コンピュータビジョン特論					専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成29年3月 川崎 洋教授 退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(29)
							後任未定		コンピュータビジョン特論	平成29年3月 川崎洋教授退職 他の専任教員へ担当変更予定(29)

専	教授	與倉 昭治 (62)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 位相数理特論	専	教授	與倉 昭治 (63)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Topics in Topology	平成28年4月から教育内容の充実を図るため、科目名を「位相数理特論」から「Advanced Topics in Topology」へ変更(28)
専	教授	種市 信裕 (58)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 数理システム学特論			後任未定		専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 数理システム学特論	平成29年3月 種市信裕教授 退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(29)
専	教授	近藤 正男 (65)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 社会数理学特論					専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成28年3月 近藤正男教授 退職 担当科目については他の教員が共同で担当しているので支障はない(29)
専	教授	近藤 正男 (65)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 社会数理学特論	専	教授	杉本知之 (42)	平成28年4月	社会数理学特論	平成28年3月近藤正男教授退職に伴う担当者の変更(28)
専	教授	小山 佳一 (49)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Material Science and Production Engineering 磁気科学特論	専	教授	小山 佳一 (50)	平成28年4月 平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Material Science and Production Engineering Advanced Mageto-Science 国際コミュニケーション海外研修	平成28年4月から教育内容の充実を図るため、科目名を「磁気科学特論」から「Advanced Mageto-Science」へ変更(28) 平成29年4月から教育課程の充実を図るため担当科目の追加(29)
専	教授	半田 利弘 (57)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 地球惑星科学特論 銀河電波天文学特論	専	教授	半田 利弘 (58)	平成29年4月	専攻ゼミナール特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 地球惑星科学特論 銀河電波天文学特論 国際コミュニケーション海外研修	平成29年4月から教育課程の充実を図るため担当科目の追加(29)
専	准教授	佐藤 紘一 (39)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	専	准教授	佐藤 紘一 (40)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 高エネルギー材料工学特論	平成28年4月から教育内容の充実に伴う担当科目の追加(28)

専	准教授	余 永 (59)	平成28年4月	先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced System Information Science ロボット工学特論	専	教授	余 永 (60)	平成28年12月	先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced System Information Science ロボット工学特論	平成28年12月昇任(28)
専	准教授	林 良太 (49)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 機械制御工学特論	専	教授	上谷 俊平 (57)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	平成28年3月林 良太准教授退職 担当科目については他の教員が共同で担当するので支障はない(28)
専	准教授	重井 徳貴 (48)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ デジタル通信システム特論	専	准教授	重井 徳貴 (49)	平成29年4月	専攻ゼミナール特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 並列処理システム	平成29年3月宮島廣美教授退職に伴う担当科目の追加(29)
専	准教授	澤田 樹一郎 (45)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 構造設計特論Ⅱ	専	准教授	渡邊 俊夫 (49)	平成29年4月	デジタル通信システム特論	平成29年4月から授業分担の見直しに伴う担当者の変更(29)
専	准教授	中島 常憲 (45)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	専	准教授	中島 常憲 (46)	平成28年4月	専攻ゼミナール特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 環境分析化学特論	平成28年4月から教育内容の充実に伴う担当科目の追加(28)
専	准教授	三隅 浩二 (57)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 地盤工学解析法	専	准教授	三隅 浩二 (58)	平成29年4月	専攻ゼミナール特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 地盤工学解析法 土質力学特論	平成29年4月から教育内容の充実に伴う担当科目の追加(29)

専	准教授	柿沼 太郎 (50)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 応用数学特論Ⅱ 海岸防災特論	専	准教授	柿沼 太郎 (51)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 海岸防災特論	
					兼任	教授	門 久義 (69)		応用数学特論Ⅱ	平成28年4月から専任教員(准教授)から兼任教員へ変更(28)
専	准教授	審良 善和 (43)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	専	准教授	審良 善和 (44)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 維持管理工学 ライフサイクルデザイン	平成28年4月から教育内容の充実に伴う担当科目の追加(28)
専	准教授	塗木 淳夫 (44)	平成28年4月	先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 生体運動制御特論	専	准教授	塗木淳夫 (45)	平成28年4月	先端科学特別講義 専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 生体運動制御特論 生体電磁工学特論	平成28年3月 湯ノ口万友教授退職に伴う担当科目の追加(28)
専	准教授	中岡 宏行 (34)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	専	准教授	中岡 宏行 (35)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 数理代数学特論	平成28年4月から教育内容の充実の伴う担当科目の追加(28)
専	准教授	伊藤 稔 (43)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 表現論特論	専	教授	伊藤 稔 (44)	平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 表現論特論	平成29年4月昇任(29)
専	准教授	村上 雅亮 (42)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ	専	准教授	村上 雅亮 (43)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 複素代数幾何学特論	平成28年4月から教育内容の充実に伴う担当科目の追加(28)

専	准教授	秦 浩起 (53)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ カオスとフラクタル特論 統計力学特論	専	准教授	秦 浩起 (54)	平成28年10月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ カオスとフラクタル特論	
					専	准教授	秦 重史 (34)	平成28年10月	統計力学特論	平成28年10月から授業分担の見直しに伴う担当者の変更(28)
専	准教授	新留 康郎 (53)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ コロイド化学特論	専	教授	新留 康郎 (54)	平成28年4月 平成29年4月	専攻ゼミナール特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Colloid Chemistry	平成28年4月から教育内容の充実を図るため、科目名を「コロイド化学特論」から「Advanced Colloid Chemistry」へ変更(28) 平成29年4月昇任(29)
専	准教授	山本 啓司 (51)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 地球テクトニクス特論	専	教授	山本 啓司 (52)	平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 地球テクトニクス特論	平成29年4月昇任(29)
専	准教授	小林 励司 (45)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 震源過程特論	専	准教授	小林 励司 (46)	平成28年4月	専攻ゼミナール特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Earthquake Source Process	平成28年4月から教育内容の充実を図るため、科目名を「震源過程特論」から「Earthquake Source Process」へ変更(28)
専	准教授	宮本 旬子 (53)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 植物系統学特論	専	教授	宮本 旬子 (54)	平成28年4月 平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Phylogenetic Botany	平成28年4月から教育内容の充実を図るため、科目名を「植物系統学特論」から「Advanced Phylogenetic Botany」へ変更(28) 平成29年4月昇任(29)
					専	准教授	松本 詔 (36)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターンシップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 解析学特論	平成28年4月から教育内容の充実を図るため教員を追加(28)

					専 准教授	小山 雄資 (36)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 地域計画学特論	平成28年4月から教育内容の充実を図る ため教員を追加(28)
					専 准教授	甲斐 祐一郎 (36)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 電磁エネルギー工学 特論	平成28年4月から教育内容の充実を図る ため教員を追加(28)
					専 教授	高桑 繁久 (45)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ Advanced Study of Star and Planet Formation	平成28年4月から教育内容の充実を図る ため教員を追加(28)
					専 准教授	近藤 剛史 (39)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 離散群論特論	平成28年4月から教育内容の充実を図る ため教員を追加(28)
					専 准教授	中尾 光博 (33)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 流体計測制御特論	平成28年4月から教育内容の充実を図る ため教員を追加(28)
					専 准教授	前島圭剛 (39)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 微視的結晶成長プロ セス工学	平成28年4月から教育内容の充実を図る ため教員を追加(28)

					専 教授	杉本知之 (42)	平成28年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 社会数理学特論	平成28年4月から教育内容の充実を図るため教員を追加(28)
					専 准教授	秦 重史 (34)	平成28年10月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 統計力学特論	平成28年10月から教育内容の充実を図るため教員を追加(28)
					専 准教授	鷹野 敦 (37)	平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 環境建築設計特論	平成29年4月から教育内容の充実を図るため教員を追加(29)
					専 准教授	柴田 晃宏 (49)	平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ 建築デザイン特論	平成29年4月から教育内容の充実を図るため教員を追加(29)
					専 准教授	渡邊 俊夫 (49)	平成29年4月	専攻ゼミナール 特別演習Ⅰ 特別演習Ⅱ 特別実習 特別研修Ⅰ 特別研修Ⅱ 国内長期インターン シップ 地域共同研究Ⅰ 地域共同研究Ⅱ デジタル通信システム特論	平成29年4月から教育内容の充実を図るため教員を追加(28)

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

元成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、元成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数	元成年度時における設置基準上の必要専任教員数
12	8	12
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
72	59	0	0	131	71	62	0	0	133	68	63	0	0	131
(70)	(64)	0	0	(134)						[Δ4]	[4]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員	研究指導補助	講義のみ担当			研究指導教員	研究指導補助	講義のみ担当			研究指導教員	研究指導補助	講義のみ担当		
121	10	0			120	13	0			117	14	0		
(123)	(11)	0								[Δ4]	[4]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定め	報告書提出時	完成年度時（上）
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	教授	井手英夫	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため就任辞退（28）							
			必修	特別演習Ⅰ	①								
			必修	特別演習Ⅱ	①								
			必修	地域共同研究Ⅰ	①								
			必修	地域共同研究Ⅱ	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修Ⅰ	①								
			選択	特別研修Ⅱ	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
2	教授	小原幸三	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため就任辞退（28）							
			必修	特別演習Ⅰ	①								
			必修	特別演習Ⅱ	①								
			必修	地域共同研究Ⅰ	①								
			必修	地域共同研究Ⅱ	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修Ⅰ	①								
			選択	特別研修Ⅱ	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	微視的結晶成長プロセス工学	①								
3	教授	湯ノ口万友	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため就任辞退（28）							
			必修	特別演習Ⅰ	①								
			必修	特別演習Ⅱ	①								
			必修	地域共同研究Ⅰ	①								
			必修	地域共同研究Ⅱ	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修Ⅰ	①								
			選択	特別研修Ⅱ	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	生体電磁工学特論	①								
4	教授	近藤正男	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため就任辞退（28）							
			必修	特別演習Ⅰ	①								
			必修	特別演習Ⅱ	①								
			必修	地域共同研究Ⅰ	①								
			必修	地域共同研究Ⅱ	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修Ⅰ	①								
			選択	特別研修Ⅱ	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	社会数理学特論	①								
5	准教授	林 良太	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため就任辞退（28）							
			必修	特別演習Ⅰ	①								
			必修	特別演習Ⅱ	①								
			必修	地域共同研究Ⅰ	①								
			必修	地域共同研究Ⅱ	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修Ⅰ	①								
			選択	特別研修Ⅱ	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	機械制御工学特論	①								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
5	人	必修	25	科目	必修	25	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	24	科目	選択	24	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	49	科目	計	49	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---------------------------------|
| ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 |
| ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 |
| ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	足立吉隆	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため辞任 (29)							
			必修	特別演習 I	①								
			必修	特別演習 II	①								
			必修	地域共同研究 I	①								
			必修	地域共同研究 II	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修 I	①								
			選択	特別研修 II	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	相変態特論	①								
2	教授	宮島廣美	必修	先端科学特別講義	①	退職のため辞任 (29)							
			必修	専攻ゼミナール	①								
			必修	特別演習 I	①								
			必修	特別演習 II	①								
			必修	地域共同研究 I	①								
			必修	地域共同研究 II	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修 I	①								
			選択	特別研修 II	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
選択	並行処理システム	①											
3	教授	川崎 洋	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため辞任 (29)							
			必修	特別演習 I	①								
			必修	特別演習 II	①								
			必修	地域共同研究 I	①								
			必修	地域共同研究 II	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修 I	①								
			選択	特別研修 II	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	コンピュータビジョン特論	①								
4	教授	種市信裕	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため辞任 (29)							
			必修	特別演習 I	①								
			必修	特別演習 II	①								
			必修	地域共同研究 I	①								
			必修	地域共同研究 II	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修 I	①								
			選択	特別研修 II	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	数理システム学特論	①								
5	准教授	澤田樹一郎	必修	専攻ゼミナール	①	退職のため辞任 (29)							
			必修	特別演習 I	①								
			必修	特別演習 II	①								
			必修	地域共同研究 I	①								
			必修	地域共同研究 II	①								
			選択	特別実習	①								
			選択	特別研修 I	①								
			選択	特別研修 II	①								
			選択	国内長期インターンシップ	①								
			選択	構造設計特論 II	①								
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
5	人	必修	26	科目	必修	26	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	25	科目	選択	25	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	51	科目	計	51	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)			後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
10 人	必修	51 科目	必修	51 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	49 科目	選択	49 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	100 科目	計	100 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の交代については、学生へ影響がでないように他の専任教員で対応する。学生へは時間割等で周知する。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等（該当なし）

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<理工学研究科 総合理工専攻>

(1) 設置計画変更事項等（該当なし）

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 委員会名 理工学研究科ファカルティ・ディベロップメント</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年2回（5月、3月）開催 委員数11名</p> <p>c 委員会の審議事項等 ・ 5月 前年度活動報告について、当該年度活動計画について ・ 3月 次年度活動計画の作成について、当該年度活動報告書の作成について</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 ・ 授業アンケートの実施 ・ FD講演会の実施</p> <p>b 実施方法 ・ 授業アンケートの実施・・・Q1～Q4期の4回に分けて学生に対して授業アンケートを実施する。 ・ FD講演会の実施・・・他大学から教員を講師として招き、講演会を実施する。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） ・ 授業アンケートの実施・・・Q1・Q2期は6月、8月、Q3・Q4期は12月、2月に学生にアンケートを依頼し、学生からのアンケート結果をFD委員会で集計を行い、Q1・Q2期分については9月、Q3・Q4期分については3月にFD委員会から教員に対して集計結果を送付した。 ・ FD講演会・・・平成28年10月13日に実施した。教員の参加は44名であった。</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 授業アンケートの集計結果を9月、3月に教員へ送付し、その結果を踏まえた授業計画改善書の作成を実施した。</p>

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施 有 実施時期 Q1・Q2期は6月、8月、Q3・Q4期は12月、2月

b 教員や学生への公開状況、方法等

理工学研究科ホームページにおいて、FD報告書を公開しその中授業評価アンケートの結果を掲載している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的については、計画通りに実施しているが、今後更に教育・研究の水準の向上を諮り、設置の趣旨・目的の実現に向けて取り組む。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

未定(平成31年度)

b 公表方法

- ・年度計画進捗管理システム及び研究者情報管理システムを活用し年度毎のデータを収集したうえで、3年ごとに自己評価報告書を作成する。
- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

未定(平成33年度までに受審予定)

(注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期(未公表の場合は予定時期)

(平成29年9月1日)

鹿児島大学大学院理工学研究科ファカルティ・ディベロップメント委員会規則

平成 19 年 5 月 16 日

理工研規則第 3 号

(設置)

第 1 条 鹿児島大学大学院理工学研究科（以下「理工学研究科」という。）に、理工学研究科の教育理念・教育目標に基づき教育の内容及び方法の改善を図るため、鹿児島大学大学院理工学研究科ファカルティ・ディベロップメント委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(任務)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項を審議し、実施する。

- (1) 理工学研究科において実施するファカルティ・ディベロップメントに関する事
- (2) 国立大学法人鹿児島大学ファカルティ・ディベロップメント委員会から付託された事項に関する事
- (3) 理工学研究科教授会から付託された事項に関する事
- (4) その他委員会が必要と認めた事項に関する事

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 理工学研究科から選出された鹿児島大学ファカルティ・ディベロップメント委員会委員
 - (2) 各専攻の研究科を担当する専任の教員のうちから選出された者 各 1 名
 - (3) 研究科長が指名した者 若干名
 - (4) 事務部長
- 2 前項第 2 号の委員については、博士前期課程及び博士後期課程各専攻から選出された委員は、兼ねることができる。
- 3 第 1 項第 2 号の委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、前条第 1 項第 1 号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代行する。

(会議)

第 5 条 委員会は、第 3 条第 1 項第 2 号の全委員の出席により成立し、議事は、出席委員の 3 分の 2 以上の賛成により決する。

(代理出席)

第 6 条 第 3 条第 1 項第 2 号の委員が事故等のため委員会に出席できないときは、当該委員

が所属する専攻の研究科を担当する専任の教員を代理者として出席させるものとする。

(委員以外の者の出席)

第7条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第8条 委員会に、必要に応じ、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(事務)

第9条 委員会の事務は、研究科・工学系総務課総務係において処理する。

(雑則)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この規則は、平成19年5月16日から施行し、平成19年4月1日から適用する。

2 この規則の施行後最初に任命される第3条第1項第2号の委員の任期は、同条第2項本文の規定にかかわらず、学部のファカルティ・ディベロップメント委員会委員が委員を兼ねる場合、その任期に準ずることとする。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月11日から施行し、平成26年4月1日から適用する。